

お元気ですか



新屋敷事務所: JR円行寺口駅前 823-5878  
あその事務所: 846-2046 県議会 823-9524  
北本町事務所: 北本町1丁目13-1上雅ビル1F



日本共産党

# 県政ニュース はた 愛

2024年4月21日 No.885



## 発達障害への支援 地域でも学ぶ機会は重要

～泣き止まない子育て 希望に変わるまで～

### 保護者を助ける視点が大切

4月、市内で障害をもつ子どもの親たちが集い、子育ての実体験を語る場があり、お話を聞きに行ってきました。(主催は「TOMOはうす」)

パネリストには自閉症の息子さんを育てる両親が参加し、支援で救われた体験を話してくれました。泣き止まない息子が障害である事を検診で知り、療育支援など行政支援を受けてきたけれど「とても疲弊していた」と振り返ります。

お父さんは「障害に対して悲観はしてないけど、自分たちでは大変だった」、お母さんは「子どもの機嫌がいつ崩れるのか常に緊張していた」と言います。TOMOハウスの支援プログラムと出会い、どこに課題があるのかプログラムを通じ、自閉症の特性や親子の関係性など、向き合い方を知り、「受け入れ」ではなく「理解する」に変わり、あきらめ感や不安が解消したと話します。

自閉症をもつ息子さんは、今や落ち着きが生まれ魚の研究やチューブ発信など出来る様になったそうです。親として、いい面が見えてくる様になり嬉しいと語ってくれました。

### 障害は社会進歩の光に

子どもでも大人でも、具体的なケースに応じた専門的支援が受けられる機会は権利であり重要です。

親・家庭だけの問題に矮小化せずに保育や教育、会社などのあらゆる現場で「理解」が広がり、支援が当たり前となる環境づくりが大事です。

障害や性格など個々の違いや存在を認め合いながら共に生きる地域を目指したいです。

学びや交流が出来る機会を行政側も積極的に作っていく必要があると思います。簡単ではない問題だからこそ専門家の力を身近に得られるよう、声をあげて行きましょう。

## おたまじゃくし

地域を訪問する中で「中学校が楽しい!」との声を聞いて、久しぶりに嬉しくてたまらない。保護者はもちろん、高知市の先生も教育委員会も聞きたかった声と思う。

小学校を卒業し進学したばかりの少年は、友達が出来たことを凄く喜んでいて。この先どんな壁が現れても、友との思い出は、彼を励ますだろう。そうなって欲しい。

35年前、自分が中学生の時の思い出。女子バスケ部で、走って跳んで、失敗しながら笑って泣いて挑戦する、毎日が一瞬に過ぎた。昨年末には、久しぶりにミニ同窓会をしたが、普段は合わないのに顔を合わせると蘇る、今でもすぐにチームを組んで試合に挑めそうな絆があった。来年は50歳記念の大きな同窓会がある。再開を約束し笑顔で別れたが、学校とは同じ故郷、同じ時代を生き、助け合った場所、そういう大事な所なんだと。

効率性や弱肉強食とは真逆の世界だった。今の学校でもAI・パソコンだけでなく、人と人が関わりあい生きていく力を育む、教育の質は進歩したのだろうか。



## 橋本大二郎・元高知県知事

朝日新聞で“特定重要港湾問題”語る

### 安全保障は住民の協力あってこそ

4月8日、朝日新聞の「考論」で元高知県知事の橋本氏がインタビューに答えている。コメントは、現職の濱田知事の特定重要港湾に対する姿勢、認識について異議を唱える内容だった。

以下発言の主旨、「『国の専管事項』と答えた(濱田)知事だが、国防や外交に関する事でも地方はきちんと意見をいうべきだ。高知県には米軍の訓練ルートがある。知事時代、県内ダムに空母艦載機が墜落、低空飛行訓練の中止と訓練前の情報提供を求めたが聞き入れられなかった。安全保障は地元住民の協力あって初めて力をもつ。政府には危険性を取り除くための真剣さが見えない」と。

## 無料 生活・法律相談会

4月21日 午前10時~12時

新屋敷事務所 皿田幸憲・弁護士

5月15日 午後18時~20時

あその事務所 南拓人・弁護士

\*あその予約先:090-1171-4156